

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 14	市内の同業者との意見交換や交流する機会から、他の事業所の様子を知りたい。	同業者との意見交換の機会から、入居者へのサービスの向上の糸口を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通して市の担当者を中心に市内のグループホーム職員と連絡を取り合う。 ・交流会の開催日程を検討し、開催する。 ・日頃の生活事例等から意見交換をする。 ・交流会での意見を現場に持ち帰り、まどいでの生活に活かせることを検討する。 	12ヶ月
2	28	入居者個々に対応した機能訓練や日常生活動作を他職種と連携して支援していきたい。	個々の状態に合わせたリハビリ体操や動作の仕方を日常生活に取り入れることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が個々の入居者の生活課題を看護師やPTに相談する。 ・毎週木曜日にPTのリハビリや生活動作の指導を受ける。 ・職員はリハビリ体操等、日常的に継続して行い、経過を再度報告していく。 	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。